

マグナ学生受け入れ事業 アンケート結果

派遣事業に参加した方のご家族にもマグナ学生受入についてアンケートをお願いしました。

<アンケート回収率>

| 受入 | 計 | H17 | H18 | H19 | H20 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 送付者数 | 49人 | 13人 | 12人 | 10人 | 14人 |
| 有効回答者数 | 18人 | 3人 | 5人 | 2人 | 8人 |
| 回収率 | 37% | 23% | 42% | 20% | 57% |

派遣事業のアンケートよりも平均で2%回収率は下がりますが、おおむね良好な回収率と思われます。

一人暮らしをしている関係で、ご家族に回答をお願いした受入事業のアンケート回答率が低下したと考えられます。

1. ホストファミリーとして学生を受け入れてみて、自分がマグナにホームステイをした時とは異なる体験や感想、気づきがありましたか？

はい…11人 いいえ…5人

[具体的回答]

- ・1人で日本へ来る(一人で泊まる)というのはとても不安なことだと思うので、安心させてあげることが大切。
- ・ホストファミリーとして安心させてあげたい気持ちはあるが、うまく話せなくて、気持ちを伝えることができなかった。
- ・大変です。
- ・ほとんど日本語ができない様子だったので、少し大変そうだった。
- ・受入の大変さ、楽しさを知ることができました。
- ・食生活、文化の違いにより食べられないものがあった。
- ・マグナにホームステイをしたときは8月で、ホストファミリーも夏休みだったのでお互い余裕があったと思うのですが、受け入れたときは6月で学校もあったため、私自身が高校の勉強(予習)等で忙しく、あまり交流できなかったことがすごく心残りでした。
- ・英語を交えて日本語を教える経験ができた。足湯や共同浴場は初めての体験でとても楽しそうだった。
- ・マグナでの生活より日本での生活のほうが落ち着いている。
- ・食べ物の違いがあって大変だった。

文化の違いにより食事に関して苦労されたことが多いようです。食事も含めて、温泉などの日本の文化を体験させようとされたことが分かります。

2. 国際交流事業(学生派遣・学生受入)に参加して、ご家族の皆さんの外国や国際交流に関する関心は以前よりも高くなりましたか？

とても高くなったと思う **2人**
 多少は高くなったと思う **4人**
 以前と変わらない **1人**

派遣事業に参加した子どもだけでなく、その家族も国際交流に対する関心が高くなり、ホームステイや留学をしてみたいと思うようになったようです。

3. ホームステイやホストファミリーの経験により、他の家族がホームステイや留学に関心を持つようになりましたか？

ホームステイをした、または、したい 9人

留学をした、または、したい 2人

4. ホストファミリーとしてマグナの学生を受け入れて、良かったことなどありましたか？

- ・ホームステイをさせて頂き、又、ホストファミリーをさせて頂いたことで、子供本人が今、世界中を自由に一人で行動しております。大嫌いな英語を話し、フランス語を話し、人生においてとてもとてもよかったです。
- ・異文化の方の生活様式を知ることができた。物おじしないおおらかな国民性を感じた。
- ・異文化交流がとても楽しかった。特に食事に気を使ったが、問題はなかったと思う。
- ・外国に対し不信感を抱いていた祖母が、受け入れを通し変わったように思う。家族が外国や国際交流に対し関心が高くなったと思う。
- ・外国の文化を知る良い機会となった。
- ・アメリカ人の娘が一人増え、とても嬉しく思っています。彼女が他の人に『姉妹は2人います。1人はアメリカにいるアレクサ。もう一人はTomokoです。』というのを聞いて感激しました。
- ・食生活と文化の違いを体験できて面白かった。
- ・コミュニケーション力が増した。
- ・とても良い経験ができた。英語にますます興味がわいた。
- ・外国人が家の中にいるということがとても新鮮だったので、いい経験になった。
- ・外国の文化を知る良い機会となった。
- ・知らないことをたくさん教えてくださったので、とても勉強になった。
- ・英語をもっと勉強し話せるようになりたいと思った。受入は先生だったが、考え方が日本人に近い面も多々あり、共感できることも沢山あることに気付いて良かった。

5. 機会があれば、ホストファミリーとしてマグナの学生を受け入れたいですか？

是非受け入れたい 7人

条件が合えば受け入れたい 6人

[条件]

家に子どもがいないことが学生受入の障害となっているようです。

また、平日の日中に送迎がしなければならないことが、ホストファミリーの負担となっていることが分かります。

- ・学生をスケジュールに合わせて送迎することは不可能なので、その役割が軽くなるなら受け入れたい。
- ・子どもが家にいなくてもよい方。
- ・その時の家族の状態、家屋の状況が整えば受け入れたいと思います。
- ・現在子供が家にいなく、仕事も忙しく対応できそうもないので、落ち着いたらまた受け入れたい。
- ・仕事をして現在は一人暮らしをしているので、もし家庭を持つようになったら受け入れたい。
- ・子どもが家にいないので、受け入れる子供がホームシックになりそう。大人なら問題ない。

口受け入れたくない3人

[理由]

- ・夫婦で民宿をしているため、平日日中は家が留守になる。また、週末もお客さんがいると学生さんのお世話が満足にできないと思う。
- ・食事が一番大変。共働きだと、送迎が年寄りになってしまい難しい。また、女の子の家庭に男の子が来ると話も合わず困った。
- ・食事・言葉等、とても大変だった。毎日のようにどこかに連れて行かなければならなくて大変だった。

その他

- ・意思の疎通には苦労したが、ピアス先生に家に来ていただくなど相談をするうちに少しずつ通じるようになった。
- ・ちょうど祭りの時期だったので浴衣を着て出かけた。ホストファミリーと交代で匠の里、長岡の自然博物館に行った。温泉にも挑戦した。
- ・サービス業関係の仕事をしていると週末出かけるのは大変でした。親同士交代でフォローできたのはよかったが、週末の過ごし方を全体で何か一日あれば助かる家庭もあると思います。

湯沢の土地柄、サービス業に従事している家庭が多く、そのため週末を学生と一緒に過ごすことが困難となるケースが見られます。

共働きの場合、上記の条件付き受け入れと同様に、毎日の送迎が難しいようです。

送迎と週末の過ごし方、そして食事がホストファミリーの大きな負担となっていることが分かります。